

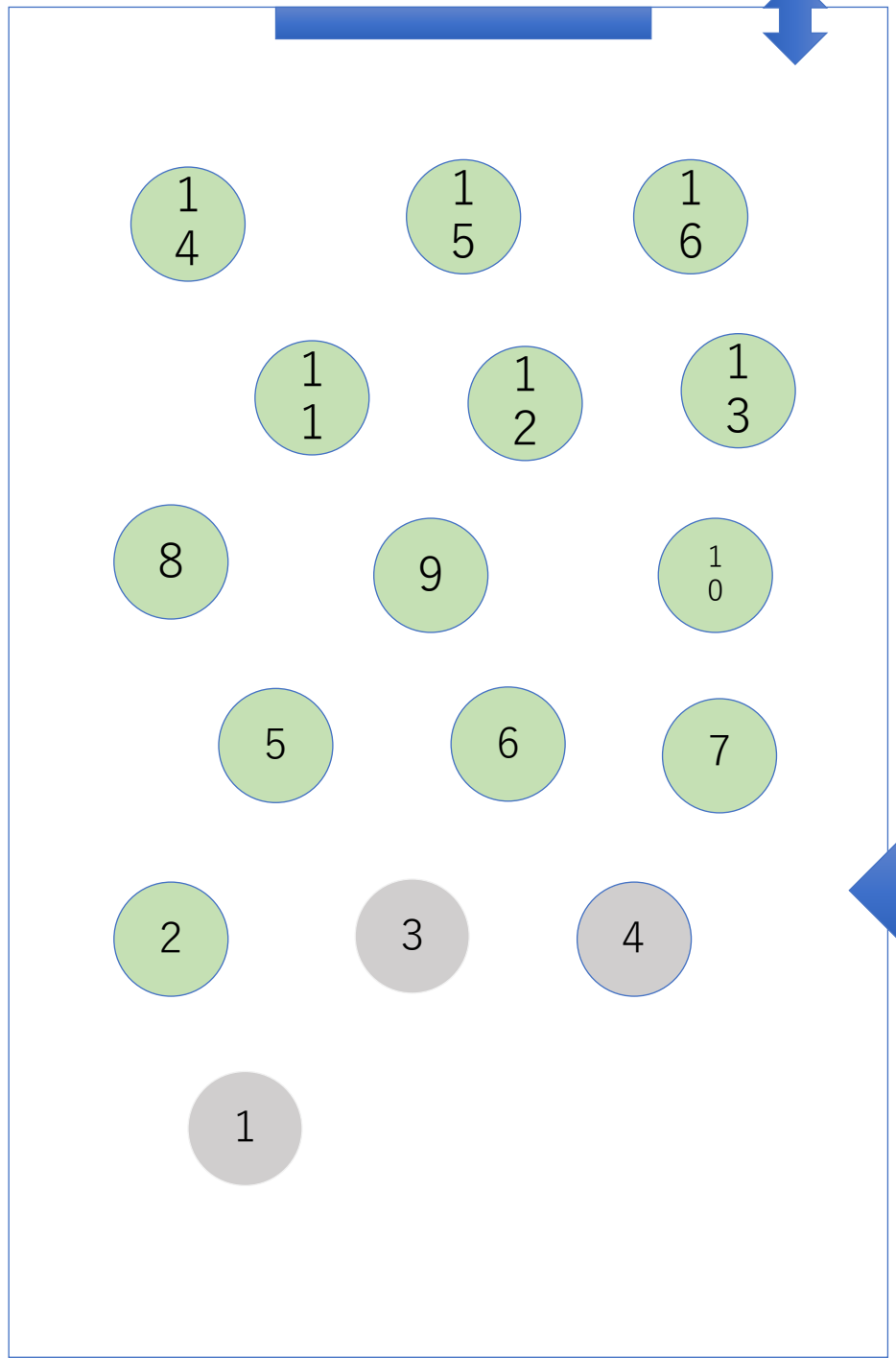
コミュニケーション論B第5回
新しい4人組を作ります

座り方:トランプの番号のグループに着席を。1-13。
図はちょっとずれてます。番号プレートを探してください。
(超えたら14、15、16を)

4人組。そのどこでもOK。

13グループ×4人=52人
14, 15, 16で64人

椅子席



LAH.H107

コミュニケーション論B

3Q月・木1/2限 (8:50-10:30)

第5回：ファシリテーション入門

2022.10.20

リベラルアーツ研究教育院(ILA) 教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

特別参加：高尾隆先生

ティーチングアシスタント (TA)：柳川総太郎

授業計画前半

詳細は様子を見ながら検討

1. 10/3 オリエン、グループワーク体験
2. 10/6 WS入門：聴くことと話すこと
*10/10休み
3. 10/13 相互インタビュー
4. 10/17 ワールドカフェ：全員参加の対話
5. **10/20 ファシリテーション(F)入門**
6. 10/24 F基礎スキル①：場づくり
7. 10/27 F基礎スキル②：グループサイズ、問い
* 10/31、11/3休み

授業計画後半

詳細は様子を見ながら検討

8. 11/7 ~~スキル③：見える化・プログラムデザイン~~
高尾先生特別授業（インプロ即興演劇）
9. 11/10 自分が創りファシリテートしたい場
10. 11/14 ファシリテーター実習に向けて準備
11. 11/17 ファシリテーター実習①
12. 11/21 ファシリテーター実習②
13. 11/24 ファシリテーター実習③
14. 11/28 全体ふりかえり：最終レポートを元に

今日の流れ

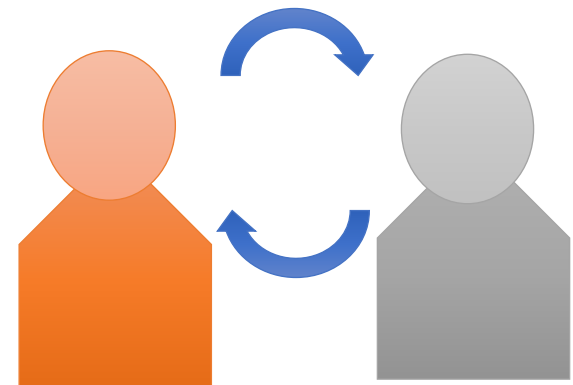
8:50-10:30

- 8:50 オリエン、
- 9:00 チェックイン
- 9:10 これまでを振り返りつつ
ファシリテーション入門
- 10:15 ふりかえり
- 10:25 フィードバックシート

第3回

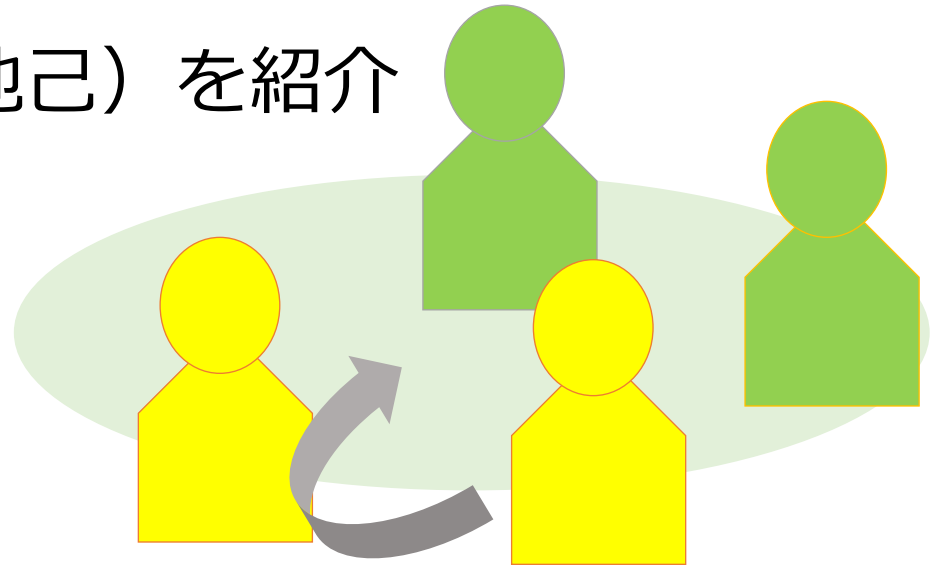
相互インタビュー

- 2人組で、交代に聴きあいます。
 - 問い（基本案）は後述。
- 一人10分ずつ、交代して、合計20分
- インタビュー記事にして他の人に紹介しますので、**メモ**をとってください。
 - ただ下ばかり見ないように。
 - 姿勢、表情、うなずきなど



他己紹介

- 自己ならぬ相手（他己）を紹介
- 4人組（2ペア）で。
- 基本は清書した記事を読むだけ。
- もし明らかな誤解や間違いがあったら修正を。
- 一巡したら、一連のワーク（話し、聴き、読み、読まれ）の感想をシェア
- 最後に相手に記事をプレゼント



第4回 ワールドカフェ

「問い」についての少人数での対話を、
席替えして3ラウンド繰り返します。

3ラウンド 行います

第1ラウンド

自己紹介
対話・メモ

約20分

ホスト一人残り
組替え

第2ラウンド

(自己紹介)
(前の対話の共有)

新たな対話・メモ

約20分

ホスト一人残り
組替え

約20分

第3ラウンド

(自己紹介)
(前の対話の共有)
新たな対話・メモ

最後に個人で書く

ハーベスト(収穫)

全体で発見・気づき
をわかちあう

今日は3つのお題で

ご提案もありがとうございます。

結論や正解はない。多様な意見を率直に交換し、新たな発見・創造へ！

• 人とコミュニケーションすることの魅力と難しさ

- 「友達って、どうやって見つけた？」
- 人と付き合うのは楽しくもあり難しくもある。人間関係の両義性
- 自分の体験から、とてもうまくいった時のこと、あるいは厄介になってしまったことを、具体的に思い出しシェアするところから。

• 「食生活」について

- 健康な食事してる？食事によって体に変化は？特に一人暮らしはどうしてる？食生活整えるのに足りない環境や要素は？
- 日々食べるものが私を作っている。どう意識してる？実状は？

• もし〇年しか生きられないとしたら

- 不治の病で、例えば3年しか生きられないとしたらどうする？それが10年なら、あるいは1年、3ヶ月、1週間、1日だとしたら。
- いつかその日は来ます。生きてる間にやりたいことは？
- 「将来、安定をとるか、チャレンジをとるか」にもつながる

フィードバックシートから

- ワールドカフェという形式で3ラウンドで**違う人と話し合っ**て、**とても有意義**な時間を過ごした。最初に各の友達作りに関する話をし、やはり対面授業や実験をきっかけで友達作った人が多く、**最初の一步を踏み出すのが勇気が必要**である。そして、食生活に関しては、実家暮らしをする人の方が健康で、一人暮らしだとどうしても朝ごはんを食べないで不健康になることが多い。また、もし1日しか生きれないとなれば、生配信をして世界に届くということをした人いた。色々な人と意見交換をして良かったと思う。
- **えんたくんに残された文字**を見ることで、それぞれのグループで全然話の流れが違いそうなことが分かって面白かった。
- いろんな人とディスカッションすることで会話する相手の性格や特徴が議論において重要であることを身をもって学んだ回だった。特に2回の編成変更を持って3種類のグループを比較すると、話が盛り上がる会とそうでない会とが浮き彫りになった。これらの差異はなんなのかと考えると、**影なるファシリテーターの存在が大きいのかな**と感じた。それはつまり、ファシリテーターを定めなくとも、自ら進んでファシリテートする人が現れるか否かということである。沈黙を破り口火を切る者の重要さが理解できた。次回以降、そのような人物になれるよう精進したい。

チェックイン

- ワールドカフェ、どんな話が盛り上がった？印象に残ってる？
 - 小グループでふりかえり・わかちあい（シェア）
- 進め方
 - 司会・進行役（ファシリテーター）を決める
 - やってみたい人、苦手な人、ハートの人、じゃんけん？
 - その人が進め方を指示
 - 場を開く：にこやかに自分が進行させていただくと挨拶
 - お題：何について話すか
 - 誰から話すか決める、または決めない
 - 何分くらいで話すか
 - 皆が話せるようにタイムキープ

ファシリテーション 入門

—参加者からファシリテーターへ

楽しく主体的に参加する人
(参加者)



楽しく主体的に参加できる場を作る人
(ファシリテーター)

<キーワード確認 1> ワークショップ（WS）とは

- “workshop” :
 - 工房、仕事場、共同作業場。一緒に創る場
- 「講義など一方的な知識伝達のスタイルではなく、参加者が自ら参加・体験して共同で何かを学びあったり創り出したりする、学びと創造のスタイル」（『ワークショップ』中野、岩波新書、2001）
- 「参加」「体験」「相互作用」が鍵、非日常性も大事
 - 元々、正規教育外で探究されてきた「野生の学び」

＜キーワード確認2＞ ファシリテーション（F）とは

- “facilitate”
 - 「促進する」
 - →物事を、効率よく進める。相互作用や創造性を促す。
 - 「＜事を＞容易にする」
 - →緊張や紛争を解く。ステップを刻んで、導く。
- 「人々が集い、何かを学んだり、対話したり、創造しようとする時、その過程を、参加者主体で、円滑かつ効果的に促していく技法」 （中野2012）
 - 簡単な正解のない時代に協働・共創を育む、新しい支援型リーダーシップとして注目
 - 主役は参加者：学習者主体のアクティブラーニングに有効

ファシリテーションの祖
マイケル・ドイル

How to make meetings work
『会議が必ず成功する法』

- マネージャー：権限も知識も大
 - この人が司会していると、下の方は、遠慮して、自由闊達には話しにくい
 - 話し合う、というより、さっさと承認を取って進めるには有効
 - 大学の教授会など多くの会議は今もこの形
- マネージャーと会議を進行する人を分ける
 - 皆が対等な感じで話しやすく有意義な話し合いに
 - ここからファシリテーターが生まれた
- お会いした時のエピソード

展開するファシリテーション

- 高尾先生は、ファシリテーションにどう出会った？
- 検索してみても
- 本、講座、
- 組織、FAJ日本ファシリテーション協会

コンテンツとプロセス

- コンテンツ（話の内容）と
- プロセス（話し合いやワークの過程、やり方、仕掛け、プログラム）
 - このプロセスのおかげでコンテンツが醸成される
- ワールドカフェの例
 - コンテンツ：話し合っって印象に残ったこと
 - プロセス：ファシリテーター（中野）が準備した仕掛け：4人組、えんたくん、トランプで最初のグループ決め、ハートが最初のホスト、お題の説明、18-20分の時間、一度目の席替えの手順、第2ラウンドの始め方、・・・最初のグループで振り返り

「チェックイン」の場合は？

- コンテントって何があった？
- プロセスって何があった？

「ワールドカフェ」の場合は？

- コンテントって何があった？
- プロセスって何があった？

前に触れた コミュニケーション・デザイン

- 良好なコミュニケーションが起こりやすい環境、場、プログラム、をよく検討し創っていく。
 - 対面でも、オンラインでも基本は同じ。
- コミュニケーションは双方向のやりとり。
 - 話しやすい雰囲気はどう創るか。
 - 聞き上手がいることで、話しやすい場に。
 - 何人で話す？お題（問い）は？時間は？・・・
- 人と人の関係性をデザインし促進するには？
 - 「ファシリテーション」という技芸が役立つ

皆で机と椅子を片付け、椅子のみの円形で座ってチェックイン。



基本は四人組で、えんたくんを囲み、書きながら話し合う。

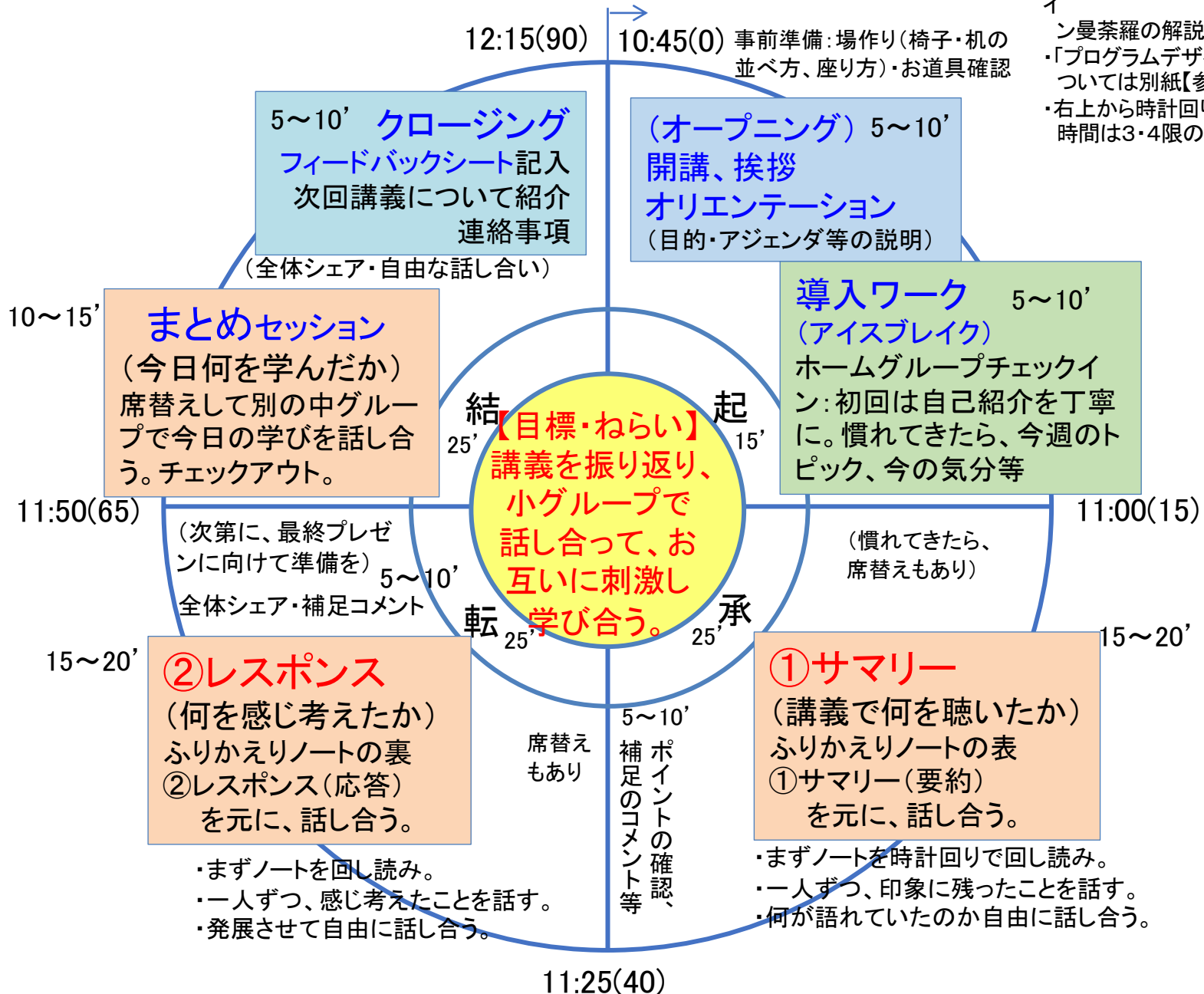


東工大立志プロジェクト「少人数クラス」基本進行案

プログラムデザイン 曼荼羅

2016.2.22 中野民夫

- ・詳細は、別紙「プログラムデザイン 曼荼羅の解説」参照。
- ・「プログラムデザイン 曼荼羅」については別紙【参考】基本参照。
- ・右上から時計回りにご覧下さい。時間は3・4限の場合の例。



- ・まずノートを回し読み。
- ・一人ずつ、感じ考えたことを話す。
- ・発展させて自由に話し合う。

- ・まずノートを時計回りで回し読み。
- ・一人ずつ、印象に残ったことを話す。
- ・何が語れていたのか自由に話し合う。

「参加型授業」の意義

学生を集約すると

楽しい！

世界が広がる。

コミュニケーション力
が身につく。

自ら何かやりたくなる。
(主体性が育まれる)

中グループでふりかえり

- 2つのグループで
- えんたくんをひょうたんのようにつないで。

googleフォーム:イードバックシート記入 授業をふりかえって、気づき・発見、学び・提案 今日中に(出席確認兼ねる)

- 今日はGoogleフォームで。
- <https://docs.google.com/forms/d/13eRhisweIv9uIfPCvml8yihTQ2eWSS-V7aDWkHdd6Zw/edit>

＜注意！＞

- 万一、授業にフル参加してなかったのに書いて提出するのは不正行為。
- 東工大ルールで当Qの全ての授業の単位が取り消されますので注意して。

A screenshot of a Google Form titled "22コミュニケーション論Bフィードバックシート" (22 Communication Theory B Feedback Sheet). The form includes a subtitle "今日の気づき・発見、学びを書いてください" (Please write about today's insights, discoveries, and learning). It contains three text input fields: "学籍番号" (Student ID), "氏名" (Name), and "気づき・発見、学び" (Insights, discoveries, learning). The "気づき・発見、学び" field is marked as required. At the bottom, there are icons for "戻る" (Back), "保存" (Save), and "必須" (Required).